

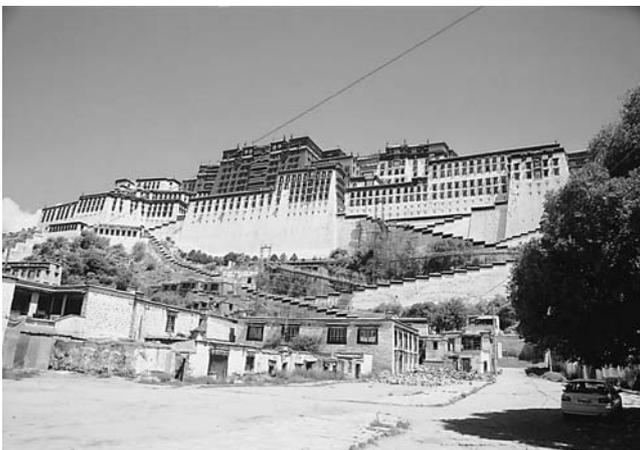
透析医のひとりごと

「補完・代替医療について」—— 船越 哲

人工透析技術の進歩とともにこれまで維持透析患者の生命予後は延び続け、現在は糖尿病でなければ20～30年の長期生存患者も珍しくない時代となっています。ただ、若輩の私が偉そうなことを言って申し訳ありませんが、今後は果たして透析患者の寿命は伸び続けるのでしょうか、と思いながら諸先輩方の著書を読むと、やはり「透析医療技術そのものは限界に近づいている」云々の文章を目にします。水質はもう十分きれいになったし、これから先あつというようなダイアライザーが発明されるとは思えません。透析技術そのものの患者の生存期間は、やはりそろそろプラトーに達しつつあるようです。しかし、たとえば骨・カルシウム代謝の管理は動脈硬化の進行予防にも重要だし、腎性貧血だってまだ全然解決されているとは言えません。「透析医として仕事がなくなる」ことは当分なさそうです。

加えて、これからの透析医の使命として、生涯ずっと透析療法を受け続けねばならない患者のQOL向上があります。維持透析患者にとって「気持ちいい」事のために、できる事はなんでもやってあげたい。QOL向上のための選択肢を拡大してあげたいと思っています。患者が透析中にシャント肢の痛みを訴えたとき、NSAIDsを手を替え品を替え処方するより、手をお湯に浸してあげるほうが「気持ちよさそう」です。外用の保湿剤を処方するとき、これにちょっぴりハーブの香りがついていたら、とかも考えます。

「補完・代替医療」という言葉を最近、少しずつ耳にします。これは本邦では、「現代西洋医学領域において、科学的未検証および臨床未応用の医学・医療体系の総称」と定義されています（日本代替医療学会）。



中国、チベット自治区、ラサ市の世界遺産『ポタラ宮』。代々のダライ・ラマが構築した巨大寺院

具体的には、中国医学（中薬療法、鍼灸、指圧、気功）、薬効食品・健康食品、ハーブ療法、アロマセラピー、ビタミン療法、食事療法、精神・心理療法、温泉療法、等々かなりのものが代替医療に包含されており、中にはどう考えても荒唐無稽な内容のものもありますが、サイエンスの視点から見て「なんとなく理にかなう」ものもあります。

私自身、先日まさかこの自分が患うとは夢にも思わなかった「五十肩」になったとき、鎮痛薬とお酒で痛む胃が可哀相になり、市販されているテープ式の鍼（内側にごく短い針のついたテープ）を圧痛点に貼ったところ、ぐっと楽になりました（気分のせいでしょうか？）。ただ、補完・代替医療の弱点は、極論すればなんでもありの民間療法との「線引き」が難しいことです。その「線」も直線ではなく複雑のようです。たとえば「気功」とは、中国の1960年代にそれまでの太極拳などを統合して「呼吸法とイメージ法」として発展してきた民間療法です。つまり「気功」を行うのは患者自身で「気功師」は言うなればインストラクターです。別に手から「気」など出ても出なくても良いのです。それが日本に入ってきてからおかしくなった。先日インターネットを開いて見ていると驚いたのは、なんと「気功発生装置」なるマシンが日本で発明されているとのこと……。買う人がいるから造るんでしょうけれど、私達が科学者（西洋医学者）の立場を離れることなく、しかし伝統医学の良さも取り入れ、維持透析患者のQOL向上の選択肢の幅を「健全に」広げてあげることができればと最近考えています。

医療法人衆和会桜町クリニック

学会ご案内

●第40回 日本小児腎臓病学会学術集会

日 時：平成17年5月12日（木）～14日（土）
 会 長：根東義明（東北大・大学院・医）
 会 場：仙台国際センター（仙台市）
 問合せ：〒980-8574
 仙台市青葉区星陵町1-1
 東北大・大学院・医 医学情報学分野（永野千代子 気付）
 TEL 022-717-7574 FAX 022-717-7505

●第21回 日本医工学治療学会学術大会

日 時：平成17年5月13日（金）～15日（日）
 大会長：秋葉 隆（女医大・腎C）
 会 場：都市センターホテル（東京都）
 問合せ：〒162-8666
 東京都新宿区河田町8-1
 女医大・腎C 血液浄化部門
 TEL 03-5269-7354 FAX 03-5269-7516

●第67回 北海道透析療法学会学術大会

日 時：平成17年5月29日（日）
 大会長：大平整爾（札幌北クリニック）
 会 場：札幌市医師会館（札幌市）
 問合せ：〒060-0001
 札幌市中央区北1条西7-3 おおわたビル2F
 北海道透析療法学会
 TEL 011-261-2033 FAX 011-261-2033

●第16回 日本サイコネフロロジー研究会学術集会

日 時：平成17年6月11日（土）・12日（日）
 当番世話人：川口 洋（いわき泌尿器科）
 会 場：スパリゾートハワイアンズ（いわき市）
 問合せ：〒973-8403
 いわき市内郷綴町沼尻62
 いわき泌尿器科
 TEL 0246-27-5522 FAX 0246-27-2908

学会ご案内

●第48回 日本腎臓学会学術総会

日 時：平成17年6月23日（木）～25日（土）
 総会長：下條文武（新大・大学院・医歯）
 会 場：パシフィコ横浜（横浜市）
 問合せ：〒951-8514
 新潟市学校町通二番町 5274
 新大・大学院・医歯 腎・膠原病内科
 TEL 052-227-2193 FAX 025-227-0775

●第50回 日本透析医学会総会・学術集会

日 時：平成17年6月24日（金）～26日（日）
 大会長：鈴木正司（信楽園病院）
 会 場：パシフィコ横浜（横浜市）
 問合せ：〒950-2071
 新潟市西有明町 1-27
 信楽園病院 内科
 TEL 025-267-1295 FAX 025-267-1295
 E-mail jsdt50@ocn.ne.jp

●第21回 腎移植・血管外科研究会

日 時：平成17年6月30日（木）～7月2日（土）
 世話人：星長清隆（藤田保衛大）
 会 場：高山グリーンホテル（高山市）
 問合せ：〒470-1192
 豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
 藤田保衛大 泌尿器科
 TEL 0562-93-2600

●第14回 腎不全外科研究会学術集会

日 時：平成17年7月8日（金）・9日（土）
 当番世話人：金 昌雄（かいこうクリニック）
 会 場：リーガロイヤルホテル（大阪市）
 問合せ：〒546-0042
 大阪市東住吉区西今川 3-1-21 スーパーカナエ3F
 かいこうクリニック
 TEL 06-6769-7811 FAX 06-6769-7822

学会ご案内

●第20回 新潟腎シンポジウム

日時：平成17年7月9日（土）

実行委員長：下条文武（新大・大学院・医歯）

会場：朱鷺メッセ（新潟市）

問合せ：〒951-8510

新潟市旭町通一番町 757

新大・大学院・医歯 内部環境医学講座（第二内科）

TEL 025-227-2200 FAX 025-227-0775

●第32回 東北腎不全研究会

日時：平成17年8月20日（土）・21日（日）

代表：鈴木唯司

会場：青森市文化会館，他